

## ラグビー部

県ラグビー界の草分けである我校ラグビー部は、十余年前の全盛を、再び我等の手で成し遂げようと、全部員、打倒盛工を胸に秘め、激しい春の強化合宿を行った。

まず今年、一年の勝負運を狙うべく、市民体育大会が五月・五六日の両日、黄金ラグビー場で行われた。前日から降り続いた雨の中で一回戦早くも盛工と対戦した。我校強力なFWを持って再三敵陣深く攻め入ったが、もう一步という所で破れてしまった。結果は岩手3-0-5 13盛工であった。続いて三位決定戦が盛農と行われた。我校は、対盛工戦と同じ布陣で戦ったが疲労が激しく、どうにか引き分け迄持ち込んだ結果、岩手8-3-5 8盛農。この大会で、スタミナが足りなかったことを痛感して、以後練習量を多くして次回の高体連に備えた。一回戦初出場の久慈高と対戦、我校自慢のTBラインの足を飛ばして、岩手62-2438-100 0久慈と軽

く一蹴し、二回戦県南の強豪黒工と対戦、前半互格に戦っていたが、不運にも後半トライゲッターの加藤、戸嶋、大峠が相次いで負傷しどうすることも出来ず大敗してしまった。

岩手6-0-6-16 36黒工。

前期中間考査も済み再び、打倒盛工を目ざして苦しい夏の合宿練習を行った。合宿中は、毎日練習試合をした結果、FWの動きが非常に早くなり、試合運びも良くなり自信を深め、八月二・五・六日の県民体育大会に臨んだ。この大会は、団体の予選を兼ねているので、全員、何んとしてでも勝とうとファイトを燃やして戦った。一回戦、再び久慈と対戦、しかし久慈高不出場の為、不戦勝となり二回戦宿敵盛工と対戦、前半終了真際得意の足を飛ばしてトライ、五点リードして前半を終った。しかし後半ちよつとした気のゆるみから、立て続けに四トライを許し、我校は一トライをかえしたに過ぎなく岩手10-5-16 16盛工と又しても惜敗した。

もう一步という所で壁に突き当って、これをどうしても破ることが出来なく、いろいろ知恵を絞り合って研究し、十一月に行われる全国大会を目ざし、前にも増して激しい練習が行われた。そして十一月三・四日我等高校

ラグーマンの憧れの的である全国大会県予選が、黄金ラグビー場で行われた。一回戦県南の黒北と対戦し、我校は全然相手にせず、岩手44-2717-0 0黒北を軽く破り、準決勝に進んだ。準決勝では宿敵中の強敵、国体で優勝という大偉業を成し遂げた盛工と対戦、我校HBは撤定的にマークされ、敵バックローの早いつぶしに合い、得意の足を使つてのオープン攻撃が出来ず、岩手0-0-0-17 11 28盛工と破れてしまった。この一試合に賭けて苦しい練習を積んで来たのに、遂に勝利の女神は我等に向つて微笑んでくれなかった。

この一年を振り返って見て、県一の走力を持つTBを持ちながら宿敵盛工に再三破れたという事は、精神力の面において劣っていたからだと思う。この点を後輩の諸君は良く研究して練習に励み、一年でも早くこの伝統ある我校ラグビー部を、石にかじりついてでも、全盛を極めた頃に復帰されんことを祈っている。

最後に無智な我々をこれ迄育てて下さった戸嶋先生始め先輩諸氏に紙上を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年のメンバー

○部長 ○主将 ○マネージャー

戸嶋正夫 三善孝司 高橋保夫

FW

1 川村柳司 ②

2 小野寺修 ②

3 沢田俊平 ③

4 千葉勉 ③

5 立花勲 ②

6 吉田駿 ③

7 岡田修司 ③

8 佐々木由道 ③

HB

9 加藤孝雄

10 三善孝司

TB

11 大矢雅道 ②

12 大峠正治 ②

13 戸嶋征一 ③

14 折祖克彦 ③

FB

15 北田淳郎 ①

補

小笠原秀孝 ①

新里 篤 ①

伊藤勢至 ①

四戸和男 ①

(三善記)